



「風しん」抗体検査・予防接種  
クーポン有効期限延長のお知らせ

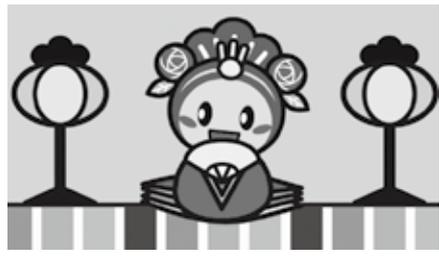
昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性で、風しんの抗体が基準以下の場合、定期接種として風しんの予防接種を受けることができます。2019年・2020年に送付したクーポン券(無料)は、有効期限が2022年2月まで延長されました。ぜひ、この機会に抗体検査・予防接種を受けましょう。

券種	抗体検査券	1
請求先	〇〇県〇〇市	123456
券番号	0123456789	有効期限2022年2月



有効期限2020年03月・2021年3月と表示されていても、**2022年2月まで使用できます。**

【備】2019年には、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた人、2020年には、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日の間に生まれた人に送付しています。  
【問】地域保健課



塩見内科ひふ科医院  
(上田2丁目)  
院長 塩見直幸

### 漢方治療の役割

内科医局に入局した約三十年前、恩師に漢方薬処方を固く禁じられました。先生いわく、東洋医学はこの症状にはこの草を煎じて飲ませると効果ありという治療経験の集積にすぎず、実証・分析を旨とする西洋医学とは根本から異なるとのことでした。漢方の効果を知る契機は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎による嘔吐・下痢の苦しみを経験した時。脱水補正の点滴と五苓散(ゴレイサン)のありがたみを実感しました。水分代謝を改善する作用があるこの名処方、今では熱中症や眩暈、余談だが二日酔いにも効果が認められています。

漢方の治療は患者の訴えや体質を重視することにあり、数値や画像結果では解析困難な病状、例えば不眠、神経症、更年期障害、認知症にも適応した処方が考案されています。また通常の風邪には抗生物質不使用という現在の治療指針下では、初期の風邪に葛根湯(カクコントウ)や麻黄附子細辛湯(マオウブシサイシントウ)などを処方する機会が増えています。効果発現が緩徐とされる漢方の中で、運動中や就寝中のこむらがりに対する芍薬甘草湯(シャクヤクカンゾウトウ)の速効性には驚かされます。

少し逸脱しますが、患者を多数経験した中国には漢方によるコロナ治療ガイドラインは存在しますが、残念ながら有効例は見当たりません。しかし免疫力向上という点で注目されているのが補中益気湯(ホチュウエキクトウ)です。

注意すべきは漢方にも副作用は存在し、甘草(カンゾウ)による低カリウム血症などが報告されています。いずれにせよ、主役はあくまで西洋医学だが、そこに漢方治療を融合させることで治療の幅を拡大できると期待しています。

## 広告募集中

広報まつばらには、広告を掲載しています。掲載のお問い合わせは、

広告代理店	合同会社IM 総合企画 (☎072-275-5449)
広告代理店	株式会社ホープ (☎092-716-1404)
広告代理店	株式会社宣成社 (☎06-6222-6888)
広告代理店	株式会社ブリーズ (☎06-6262-1101) まで。